

平成 19 年度 活動報告書

[]協議会内活動

1．第 10 回代表者会議

定時代表者会議は隔年開催の慣例により、会則第 12 条第 4 項の定めに従い平成 19 年 5 月 23 日に文書によって議案(第 1 号および第 2 号)を提案し、原案通り承認された。

2．世話人会の開催

東京都障害者福祉会館に於いて平成 19 年 4 月～20 年 3 月の間、隔月(奇数月)第 4 水曜日の開催を原則として定例的に 7 回の会議を開催した。会議では協議会の円滑な運営について協議を行った。

3．会報の発行

平成 19 年度は 3 回発行した(第 26 号・7 月、第 27 号・11 月、第 28 号・3 月)。

グループ紹介、協議会の活動状況報告、世話人会の開催状況などを協議会会員向けに広報するとともに外部関係者の理解を深めるのに役立てることが出来た。

4．原本教科書の早期共同入手活動

平成 19 年度は、関係団体のご協力を得ながら 165 件について教科書の提供を実施し、需要の増加傾向にある拡大教科書に対して会員およびその他ボランティア団体の円滑な製作活動に寄与することができた。

5．拡大教科書製作についての照会・紹介活動

20 年度用拡大教科書の照会件数は前年度に比べ若干減少の傾向となった。3 月末までに延べ 127 名 428 種の照会があり、81%の 346 種について紹介の対応を行うことが出来た。

[]対外活動

1．文部科学省との交流

拡大教科書の無償給与に関する事務合理化および学校・教育委員会等へのサポート体制の確立について陳情および情報交換を行い、弱視児童生徒への支援を行った。

2．教科書協会および全国教科書供給協会との交流

教科書の共同入手並びに拡大教科書の納入事務等に関して円滑な運営のための情報交換を行った。

特に文部科学省の要望に対応して教科書協会が開催した教科書デジタルデータの提供を検討する会議に参加し、ボランティア活動の立場からの促進役を果たすことが出来た。結果として試行的ではあるが平成 19 年 12 月から 6 教科目 32 種の本文デジタルデータの提供が開始された。

3．富士ゼロックス社との交流

社会貢献担当者との情報交換を密接にし、拡大教科書製作への新支援についての研究に協力し、前向きな実施について検討が出来た。

4．ジャストシステム社との交流

拡大教科書製作に多く活用されているワープロソフトの無償で提供を維持し、協議会活動への理解を推進した。

5．国立特別支援教育総合研究所のプロジェクト研究協議会に参加

研究プロジェクトの研究会に参加し、ボランティアの立場から今後の拡大教科書の作り方や在り方について意見や提言を述べ、理解を深められた。このプロジェクトは 19 年度で終了した。

6．利用者への情報提供

協議会事務局へ拡大教科書の利用者や学校、教育委員会等から拡大教科書に関する相談、問い合わせ等が 19 年度として 85 件寄せられ、拡大教科書の入手方法や依頼手続についての情報提供やアドバイスを実施した。

以上